

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス のこのご厚別		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 12月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 12月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っている。	・子どもや保護者の方との信頼関係を構築し、意思の疎通や情報の伝達をスムーズに行えるようその子に合った、そのご家庭に合った方法で行っている。	・今後も、意思疎通や情報伝達がスムーズに行えるよう様々な方法を模索し、何より信頼関係の構築に努めていく。
2	・子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を行っている。	・一人ひとりと向き合って関わり、会議では全職員で意見を出し合い、特性に合わせた支援を行えるよう努めている。	・専門性を高めるために、研修への参加や情報の収集を行っている。
3	・プログラムが固定化されないよう工夫している。	・日々、職員間で話し合い子ども達が楽しんで過ごし、その中で成長する部分が多くなるようアイデアを出し合っている。	・多方面の活動ができるよう今後も工夫していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動スペースが広くない。	・年齢が高い子の利用が多い曜日には、狭く感じるかと思う。	・天気にも左右される部分はあるが、外の空間や公園を利用することも視野に入れ、プログラムを考えていく。
2	・きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	・利用児童がいる時間は、利用児童のプログラムを設定している。	・今後、保護者会の一環としてや交流の場を含めて検討していきたい。
3	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない。	・ペアレントトレーニング等の数回に分けて行うものに関しては開催、参加ともに時間の確保を考えると難しい部分がある。	・家族も参加できる情報提供の場は、少しずつ開催しているので今後研修会等を増やし、参加しやすい日程を組んでいく。